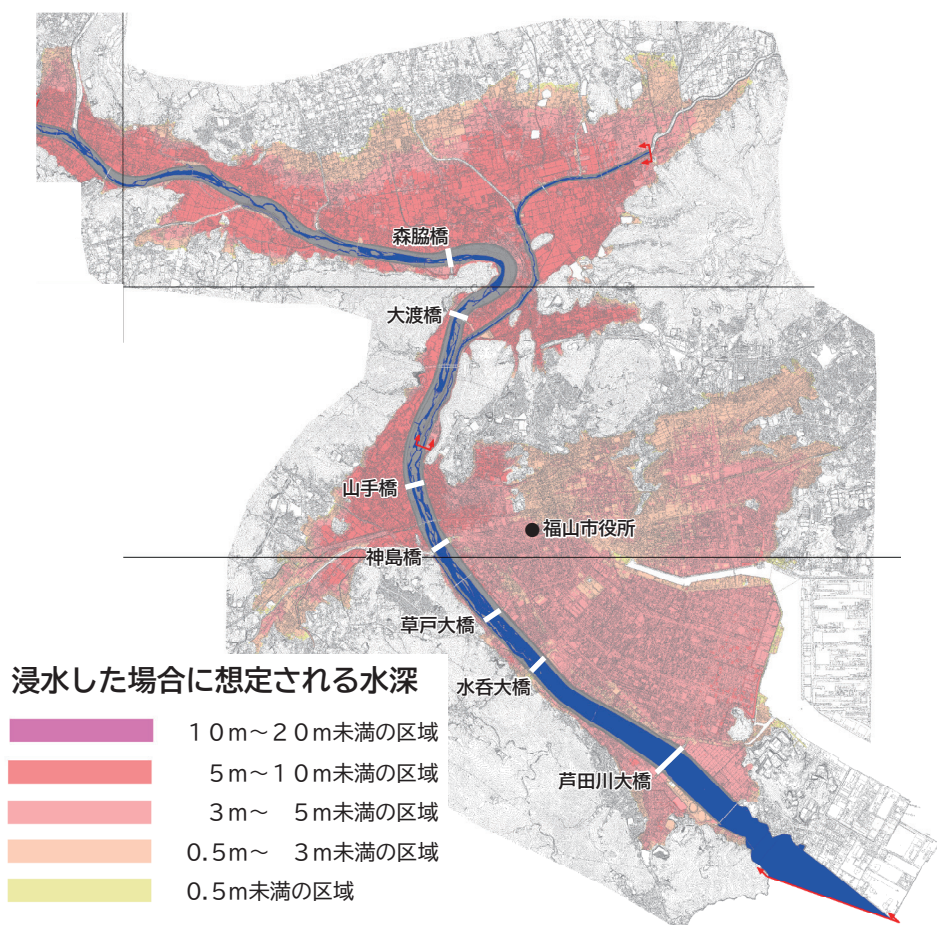


芦田川の洪水を防ぐために

こんな被害を出さないために

想定される最大規模の雨が降って
芦田川が氾濫した場合の浸水状況の予測図



出典：国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所（施設名は加筆）

30年は長い！

河川整備を急いで

国土交通省は今年、「芦田川水系河川整備計画」を12年ぶりに変更します。

7月に公表された変更原案には、芦田川の堤防の強化や耐震化が必要な場所が明記されています。

ところが、それらの整備を完了するまでに30年かかる予定です。



日本共産党市議団は、それぞれの整備の年次目標をたて、完了を急ぐよう国に求めることを市長に要望しました。

市長は「芦田川の治水安全度を確保することは重要。本市の考えをしっかりと伝える」と答えました。

予算を増やして

30年かかるのは「予算」の問題があります。使い方を変えなければなりません。

3万4千世帯の浸水を防ぐために河川19.6kmを改修する事業費は208億円です。

一方、住宅密集地をつらぬく国道2号バイパス「福山道路」16.5kmは1700億円もかかりますが、国や市は強力に進めようとしています。

豪雨など自然災害が相次ぐなか、大型道路より防災の予算こそ増やすべきです。日本共産党は今後も、災害から市民の命と財産を守るために全力を尽くします。

学校の体育館と

給食室にエアコンを

今年の夏、体育館で授業を受けた中学生4人が熱中症で救急搬送されました。

学校の体育館で熱中症になった子どもは、昨年度までの3年間で11人います。

災害のときの避難所にもなる



子どもの命を守り、災害時の避難所にもなる体育館を適切な環境にするためには、一刻も早くエアコンを設置すべきです。

最高46℃！

夏の給食調理室の環境は過酷です。

最高気温が46℃になった調理室もあり、熱中症になった調理員は3年間で13人います。

「学校給食衛生管理基準」は調理室の温度を25℃以下、湿度を80%以下に保つことを求めています。食中毒や調理員の熱中症を防ぐため、調理室へのエアコン設置を求めました。



安全でおいしい給食をつくるために

水道 これからも市営で

広島 島県は、県内市町の水道の経営を「企業団」に統合し、広域化しようとしています。

日本共産党市議団はこれまで、統合に参加しないよう強く求めてきましたが、福山市は9月議会で「統合に参加せず、単独経営を維持する」と初めて明らかにしました。統合すれば、水道料金の値上げ、

福

身近な水源や浄水場の廃止、民営化につながるなど、多くのデメリットがあります。市が直営をつらぬくと決断したのは評価できます。

山市の水道事業は、4年連続で純利益17億円を超えています。日本共産党市議団は、水道料金の値下げなど、市民のための水道経営を求めて引き続き取り組みます。

ご意見・ご要望をお寄せください

高木たけし

たけし通信

TEL & FAX 084-972-6830

mail takagi@f-jcp.com

河村ひろ子

ひろ子ワールド

TEL 084-965-6049
FAX 084-962-1928

mail kawamura@f-jcp.com

みよし剛史

みよし剛史の徒然ブログ

TEL 084-994-5013
FAX 084-994-5014

mail miyoshi@f-jcp.com

編集後記

議会だよりの作成中に、「核兵器禁止条約」の批准国が50に達し、年明けの発効が決まりました。

核兵器を全面的に禁止し、国際法で違法とする画期的な条約です。ところが、唯一の戦争被爆国

である日本の政府が条約に背を向け続けています。菅首相に変わっても、その姿勢は変わりません。

被爆者と国内外の声にこたえ、核兵器廃絶の先頭にたつ政府となるよう、政権交代が必要です。

